



令和4年度

日本海岸林学会神田・湘南大会

講演要旨集



期日

令和4年10月6日，14日，22日，23日

会場

専修大学神田キャンパス

## 【研究発表会 プログラム】

発表 No.	発表タイトル, 発表者名(敬称略)	ページ	
口 頭 発 表	座長:藤原 道郎 (淡路景観園芸学校/兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科)		
	O01	植栽用植生基盤材がクロマツの生育に及ぼす影響について — 平成 26 年から令和 4 年までの事例から — 秋山菜々子	6
	O02	生育基盤盛土を伴う海岸林造成地の約 30 年生のクロマツとタブノキの根返り耐性 野口宏典・小野賢二・太田敬之・萩野裕章・新田響平・小森谷あかね・宇川裕一	8
	O03	仙台平野のクロマツ海岸防災林に生じた生育不均一性の要因検索 — 土壌特性の面的把握 — 梶原拓人・川東正幸	10
	O04	フローチャートで考える海岸林のマツ材線虫病対策 中村克典	12

発表 No.	発表タイトル, 発表者名(敬称略)	ページ	
ポ ス タ ー 発 表	座長:田中 賢治 (国土防災技術株式会社)		
	P11	絶滅危惧種および特定外来生物の管理を含めた海岸クロマツ林保全 藤原道郎・立田彩菜・趙 星一	16
	P12	石川県海岸クロマツ林低密度(3,000 本/ha)植栽の生育状況 小倉晃・千木容	18
	P13	海岸クロマツ林内ギャップにおけるクロマツ植栽木の生育状況と環境要因 趙星一・藤原道郎	20
	座長:岡 浩平 (広島工業大学)		
	P21	鳥取県海岸砂丘地のクロマツ林における松くい虫被害跡地への侵入植生 河合克俊・山中啓介	22
	P22	海岸林における立木の成長は海岸線の進退に影響される — 石狩海岸における港湾建設後の成長量変化 — 岩崎健太・南光一樹・中田康隆・真坂一彦・篠原慶規・新田響平・水永博己	24
	P23	海岸防災林の防災機能強化に向けた「現況評価」手法の検討 — 現況評価チェック表(案)の作成 — 坂後浩・蓮尾秀平・林健二・佐藤亜貴夫・木内秀叙・中澤洋・小川内良人	26

## 【ワークショップ プログラム】

テーマ： 海岸林の「将来像」づくりに向けた課題の抽出  
 —H25 岩手大会検討会の振り返り等を含めた情報の整理—

目的： 昨年度のオンラインイベントおよび学会誌での報告(Vol.21 No.1)において第1次WGとして掲げた「岩手大会(H25)の討論会の振り返り」について、昨年度のワークショップで触れていないテーマを対象とし、それらを全国の海岸林を対象として

(A) 岩手大会討論会で挙げられたポイントや課題

(B) 復興中の知見

(C) 現在までの知見と課題

の観点から、改めて現状までの評価と今後取り組むべき(検証すべき)課題を抽出・整理する。

目指す成果： 昨年触れることが少なかった部分について、多くの意見を参加者から集めて学会として今後取り組んでいべきテーマ項目を見出し、第1次WGが今後実施する第2次WGにおける該当テーマ(分野)分けの参考、またはそのヒントを見出すことと、会員内の共通認識として共有する。

進行・コーディネーター： 萩野 裕章 氏（森林総研東北）

		発表者・進行役 (敬称略)
14:15～14:20	挨拶と経緯説明	林田 光祐
14:20～14:40	岩手大会討論会での議論結果の概要と今回のテーマ設定の説明	岡田 穰
14:40～15:00	<b>テーマ別ブレインストーミング</b>	
	① 広葉樹とクロマツとの共存関係	中村 克典
	② 生物多様性の確保と海岸林の防災機能との共存	佐藤 亜貴夫
	③ 保全管理活動をはじめとした地域との関わり	野口 宏典
15:00～15:30	<b>テーマ別評価まとめ</b>	
15:30～15:40	休憩	
15:40～16:00	各テーマの結果報告 (①・②・③)	
16:00～16:40	<b>質疑応答とディスカッション</b>	
16:40～16:45	まとめの挨拶	林田 光祐